What's up, OITA!

（どげぇかえ、ふるさと大分！）

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 50》 2017年4月発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部　国際政策課　課長　徳野　満
tokuno-mitsuru@pref.oita.lg.jp

4月から新たに課長となりました徳野です。大分では今年の桜は平年より遅めで、これから本格的にお花見のシーズンを迎えますが、国際政策課では新たな体制がスタートしました。これまでと変わらず、頼りになる皆様方とのネットワークを大切にしていきながら、とれたての大分の情報を毎月お届けしていきますので、よろしくお願いいたします。

バックナンバーはこちら　http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html

平成29年度　国際政策課国際政策班　職員紹介

当課は、平成29年度から海外戦略班と国際交流班が統合し国際政策班になりました。世界で活躍する大分県関係者の皆さまに、国際政策班職員をご紹介いたします。どうぞお気軽にご連絡ください。

主幹（総括）
山口　淳史

国際政策班の班総括として参りました山口です。国際政策課は三度目の勤務となりますが、新たな気持ちで頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【主な業務】
- 県海外戦略の推進
- 県の国際交流企画
- 庁内国際人材の育成

主幹
直山　たかし

2004～08年に大分県上海事務所の初代所長として中国駐在しておりました。国際政策課は初めてですがよろしくお願い申し上げます。

【主な業務】
- 海外プロモーション（台湾）
- 県内企業海外展開の推進
- 中国湖北省との交流

主幹
眞名井　哲也

今年で2年目となります眞名井です。昨年同様に留学生ファーストをモットーに頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【主な業務】
- 留学生の就職・起業支援
- 留学生ビジネスセンター
- トビタテ！留学Japan

主査
難波　一尚

今年度で2年目になります。大分の海外展開を、陰になり日向になりお手伝いしたいと思います。よろしくお願いします。

【主な業務】
- 課の予算・決算
- 海外PR（ベトナム）
- 災害時多言語情報センター

主査
林　孝憲

昨年に引き続き、海外戦略の進行管理を担当します。また、新たに台湾を担当させて頂くことになりました、よろしくお願いします。

【主な業務】
- 海外戦略の推進・進行管理
- 海外プロモーション（台湾）
- 大分フェア（香港）

主事
小野　かな子

JETプログラムに加え、今年度は留学生支援や海外とのネットワークづくりも担当いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

【主な業務】
- 留学生支援・誘致
- 海外県関係者とのﾈｯﾄﾜｰｸづくり
- JETプログラム

注目記事①　在大阪・神戸インド総領事が知事を表敬訪問

3月16日、在大阪・神戸インド総領事館のトンコマン・アムストロング・チャングサン総領事が来県し、知事を表敬訪問しました。

知事から、大分県の温泉や天然自然、食などの魅力を説明し、歓迎の挨拶をしました。

チャングサン総領事は、「以前から大分県に興味があり、今回初めて来県が叶いました。」「インドと日本の間で、国や自治体同士の友好関係を強化していけるよう、ご協力をお願いします。」と挨拶がありました。

【国際政策課】

注目記事②　ホテルオークラマカオで大分県フェアを開催

中華人民共和国マカオ特別行政区の超高級ホテル「ホテルオークラマカオ」の日本料理レストラン「山里」にて、3月15日から4月9日までの26日間、「大分県食の旅フェア」を開催しています。

フェア初日の3月15日には、現地メディアを招いたレセプションを開催し、大分県から県農林水産部 安部審議監、中津市 廣津水産振興課長　ほかが出席し、食と観光の魅力をPRしました。

レセプションでは、小鹿田焼の贈呈、久家本店の日本酒「一の井手」での鏡開き、林総料理長によるカボスぶりの解体ショーのほか、県産食材による数々の料理が並べられ、参加した記者から高い関心が寄せられました。フェア期間中には、「りゅうきゅう丼」「とり天」といった郷土料理をはじめ、「おおいた豊後牛と乾しいたけのステーキ」など、大分づくしのコース料理が提供されます。

〔小鹿田焼の皿の贈呈〕

〔久家本店「一の井手」で鏡開き〕

〔カボスぶりの解体ショー〕

〔レセプションの風景〕

〔県産食材を使った料理〕

〔中津和傘と着物でPR〕

ホテルオークラマカオでの大分県フェアの開催は、昨年に続く2度目の開催です。

昨年のフェアを契機に県産食材のマカオ向け輸出が順調に伸びており、今回のフェアでは、新たに養殖牡蠣「ひがた美人」も用いられ、マカオ初輸出となりました。

今後もさらなる輸出拡大に向けて、食を通じた大分県の魅力を海外の皆さんにお伝えしていきます。

【おおいたブランド推進課】

注目記事③　国際スポーツ大会事前キャンプ等誘致の取組

大分県では、2020年東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする、国際スポーツ大会に参加するチームの事前キャンプ等の誘致に取り組んでいます。

その一環として、3月13日～21日まで大分市で「女子フェンシングW杯グランプリ北京大会」の4ヶ国合同事前キャンプを実施しました。リオ五輪メダリストを含む、日本、イタリア、アメリカ、ウクライナの各国サーブル代表チームが参加し、他国選手と剣を交えるなど、質の高いキャンプとなるとともに、スポーツを通じた国際交流の場を創出することができました。

このような取組を通じ、キャンプ地大分の情報発信や県内のスポーツ振興はもとより、スポーツを契機とした交流の拡大を図ってまいります。

【芸術文化スポーツ振興課】

世界に拡がる ♨ OITAネットワーク

留学生

県内大学を今春卒業した留学生の中から2名を新たに、「めじろん海外特派員」に任命しました。県観光・物産PRや県人会の皆さんとの交流など、県の応援団として海外事業にご協力いただきます。大分県を第二の故郷としてとても大切にされる方々です。ぜひとも皆さまと交流いただければ幸いです。

リュウ　チュウケツさん

中国出身　別府大学卒

大分県に来てあっという間に4年が経ち社会人になります。もうすぐ大分県を離れますが、この4年間の思い出は決して忘れません。

学校の夏休みでは、大分県の小さな離島「深島」で友達とダイビングを体験しました。黒潮がもたらす独自の生態系と貴重な自然を持つ島です。そこにずっと暮らしてきた、おじいちゃんとおばあさんとネコたち。そして、島でただ一軒だけの食堂『深島食堂』。いつまでも守りたい穏やかな時間が流れる島で、九州本土から比較的近く、島全域が日豊海岸国定公園に指定されています。大分県や近県のダイバーからは、県内一番のダイビングポイントとして有名で「ダイビングのメッカ」と呼ばれており、魚釣りのポイントでもあります。

大分県での4年間の生活も深島でのダイビング体験ツアーのように、実に楽しく、時に面白く、お別れがやって来た時は涙します。大都会のようなストレスや速さがなく、時間の流れが遅く感じる時もありましたが、それはこのまちの癒しでした。就職で他県へ移動となりますが、大分を忘れず、本国との架け橋となれるよう、日々努力精進し懸命に生きたいと思います。

キム　ハンソンさん

韓国出身
立命館アジア太平洋大学卒

こんにちは。私は立命館アジア太平洋大学(APU)を卒業し4月から日本の半導体製造会社で働くキムハンソンです！写真は卒業式の写真です。

まず、私の大好きな大分県のめじろん海外特派員になって非常に嬉しいです。

私にとって大分県は第二の地元です。初めて日本に来た時から今まで、約4年間、大分県の別府市で生活をしてきました。美味しい食べ物、優しい人々、綺麗な自然、日本で一番の温泉など大分県での4年間の生活はソウルだけに住んできた私にとって単なる留学生活ではありませんでした。また、心身ともに幸福感や安定感を感じることができた大切な場所です。

大学を卒業してこれから仕事をするため大分県から離れますが、私が大分県で感じた様々な感動や幸福を様々な人々に伝いたいです。

めじろん海外特派員として大分県を世界に、世界を大分県につなげる様々な活動をしていきます！期待してください！

ブラジル研修生

2016年3月に日本語の研修生として来県していた、石井ケヴィンけんじさん、小村カリナ海帆さんが、1年間の研修を無事修了し、ブラジルへ帰国しました。

けんじさんも海帆さんも、初めての一人暮らしで最初は不安だったようですが、友人が増え、学校の先生や地域の方々と親しくなるにつれ、楽しめるようになったそうです。アルバイトで溜まったお金で県外の親戚を訪ね、先祖のお墓参りをしたりかつての友人に会うなど、日本とのつながりをより深めたりもしました。また、大都会のサンパウロでは見られない、大分県の豊かな自然や温泉に心が落ち着くこともあったようです。帰国後も日本語の勉強を続け、日系企業への就職や日本への留学を目指しているそうです。

帰国にあたり、お二人は「めじろん海外特派員」に任命されました。ぜひ、大分とブラジルの懸け橋としてご活躍ください。

【国際政策課】

県国際交流員の章羽紅さん（中国）が離任します

中国・湖北省出身の県国際交流員・章羽紅さんが一年の任期を終えます。章さんには、マンダリン航空定期チャーター便の初便関連行事など多岐にわたり貢献頂きました。

時間の経つのははやいものです。一年間はあっという間に過ぎてしまいました。
初めて日本の県庁での仕事なので、ドキドキしながらも、無事終えることができました。初めて知事の通訳をしたり、学校交流の歓迎セレモニーでの通訳をしたりした経験は今も鮮明に頭に残っています。私にとってはチャレンジであるとともに、大変勉強にもなりました。膨大な量の大分県の名所や観光地などの翻訳確認や、大分県政の翻訳を経て、大分県に対する理解が深まり、それにより、一つ一つ現地を訪ねると決心し、一年間大分県をたくさん回れ、大分のことを更に身近に触れ、大分県の魅力を感じることができました。娘との同行の赴任なので、職場の気配りや放課後の育成クラブなど整った環境のおかげで、仕事と育児を両立することができました。まさに「子育て満足度日本一の実現」を目指している大分県の姿です。優しい先生や生徒たちに囲まれ、娘は早く学校生活になれ、今ではペラペラと日本語がしゃべれるようになり、日本の食事や、日本文化などにも興味を持つようになりました。これからは日中友好の架け橋になると期待できます。

帰国したあと、大分県の自慢の温泉、豊かな大自然、静かな町などが懐かしくなるはずです。この一年間の思い出を頭に入れながら、これからも大分県のPRに尽力し、日本と中国の友好のために頑張っていきたいと思います。

海外大分県人会交流掲示板

フィリピン大分県人会

2月24日（金）にフィリピン大分県人会をマカティの居酒屋で「小生の送別会、新会員2名」の歓送迎会でした。小生が駐在を始めた2013年当時は前会長の帰国により何年もの間、休会状態でした。何かの縁で大分県庁様と連絡を取るようになり、県庁様から当県人会の再開を依頼され、2015年から2017年2月まで四半期に一度のペースで懇親会をやってきました。当県人会を通じ多くの人と出会いもあり交友関係も広がり駐在生活が充実したものとなりました。改めましてメンバーのみなさんの協力に感謝いたします。今後とも当県人会が末永く運営されるよう祈っております。
Maraming Salamat po！

【フィリピン大分県人会　前会長　恒松 秀紀　様より】

県立上野丘高校生6名がハワイを訪問し、エルクスクラブにてハワイ大分県人会会長のジニーフォガティ様を訪れました。

ふる里、大分からということで、母親の気持ちで、アメリカでの「生」の生活の話しをさせて頂きました。アメリカでは、いかに自分を表現していくか、またそれを評価してくれる人に出会うか・・・が、とても重要です。その自分をアピールするチャンスが到来した時の、空気が読める事、相手の立場にも立てる事、自己主張をすればよいだけではないという、難しさもちょっとお話ししてみました。

まだまだこれからの高校生、今はちょっと判らないかもしれないけれど、人生でそんな場面に直面した時、あの綺麗なハワイの海と、私の言葉をちょっとだけでも、思い出してもらえたら、嬉しいな・・・と思いました。
6人の学生のうち、5人が女性。九州、大分からの今後の女性の海外での活躍を期待します。

【ハワイ大分県人会会長　ジニー フォガティ様より】

Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（３月）

News 【3月1日（水）】 九重“夢”大吊橋1,000万人を突破

2006年10月にオープンした九重“夢”大吊橋の来場者数が、3,781日目（10年4ヶ月）に1,000万人を超えました。長崎から来られた1,000万人目と、福岡から来られた999万9999人目の方がくす玉を割り、豪華記念品が贈呈されました。会場には日野康志町長や坂本和昭前町長、マスコットキャラクター「ミヤちゃん」もかけつけ、祝福しました。

News 【3月4日（土）】 30歳の同窓会 in 福岡

30歳前後で大分にゆかりのある方を対象にした県主催の交流イベントが福岡市内の温泉施設にて開かれました。男女215名が浴衣姿で参加し、だんご汁やとり天、安心院ワインや焼酎などのグルメを囲み盛り上がりました。イベントでは、移住や就職の相談コーナーも設けており、情報収集や情報交換も盛んに行われていました。

News 【3月7日（火）】 OITA PEACE SYMPHONY100万回再生

OITA PEACE SYMPHONY MARTHA ARGERICH

2月に公開した別府アルゲリッチ音楽祭と大分県のPR動画「OITA PEACE SYMPHONY」がリリースから4週でYouTube動画再生数100万回を突破し、現在では160万回を超えています。SNSでは「素晴らしいマルタだ！」等のたくさんのコメントが寄せられ、アルゲリッチファンや海外の人々を魅了しています。ぜひご覧ください！ https://youtu.be/feSRuQ3Jdb0

News 【3月10日（金）】 草地踊りがハワイへ

280年以上もの前に豊後高田市草地地域で生まれ、県選択無形民俗文化財にも選定されている郷土芸能である草地踊りが、第23回ホノルルフェスティバルに出演しました。このイベントは、日本とハワイの文化交流を目的に毎年開催されており、草地踊りは平成20年以来9年ぶりの披露となりました。

※国際政策課にて新聞等を元に作成

おおいたライフ 県内在住外国人による大分生活よもやま話

大分県の温泉湧出量は日本で1位、世界で2位、また、世界の泉質のほとんどを有しています。今回は大分県で体験できる「湯治」について、少しお話させていただきます。

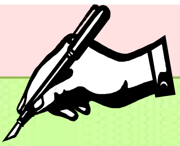
「湯治」とは、温泉に入って療養することであり、およそ1～2週間にわたり、毎日数回同じ温泉に入浴することにより、医療効果が期待できる入浴方法です。泉質によって、美肌効果から手術後の回復まで、様々な効能があるといわれています。大分県には、長湯温泉、鉄輪温泉、明礬温泉など、日本中で有名な湯治場があります。

私も「湯治」を行い、切り傷を治した経験があります。スポーツ中に腕に切り傷を負いました。外傷があるときは入浴を控えるべきだと思いましたが、隣人に強く勧められて、別府市の有名な湯治場である明礬温泉に行きました。入浴してみると、傷口の腫れが引き、痛みも軽くなりました。多くの観光客は滞在期間が短いため、数回しか入浴できませんが、湯治場で入浴している方の話を聞いたところ、地元の方だけではなく、遠方からわざわざ訪れる方もたくさんいらっしゃるそうです。

皆様もぜひ、時間がありましたら、大分県での滞在期間を少し長めにして、「湯治」の効果を体験してみてください。 【大分銀行 張 超】

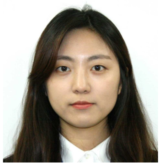
From our Reporters

県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



ミリアム・スターリング
(Miriam Starling)
県国際交流員
英国
pu101503@pref.oita.jp

先月はまだ寒く、雨降る日が多かったです。そのため先月は、「大分でのごろごろの生活」をしています。「大分でのごろごろ生活」とは何？と聞かれたら、「温泉に行ったり、グルメを楽しんだりする」ということです。天気がわるい日の、贅沢な過ごし方です。例えば、3月12日に、友達と別府に行って、和菓子で有名なレストランに行きました。ぽかぽかのこたつに座りながら、おいしいとり天と和菓子を食べました。同じ週に、友達と駅ビルで、おいしい韓国料理を食べました。サムギョプサルの大盛りでした。次の週、神戸に住んでいる友達が大分に来て、別府の温泉に行って、しゃべりながら温泉で一時間以上過ごしました。とてもリラックスしていたので、温泉を出たくありませんでした。その夜、大分市の人気のある手羽先屋で食べ飲み放題をしました…実に、食べ飲み過ぎてしまいましたが、次の日は大分の猫カフェでケーキとパフェを食べました。来月は、もう少しイベント等に参加したりしたいと思います‼ でも、大分県はこんなにゆっくりできるところということは魅力です！4月は日本で忙しい時ですが、ゆっくりしたいなら大分県は相応しいです！それに、そろそろ花見の季節ですね。楽しみにしています。



金　眞雅
(Kim　Jina)
県国際交流員
韓国
pu101502@pref.oita.lg.jp

「What's up, OITA！4月号」の韓国語版の取材先をアフリカンサファリに決め、豊後大野市の国際交流員さんと一緒に行ってきました。宇佐市安心院町にあるアフリカンサファリは広大な自然の中に生き生きと暮らしている70種1400頭の動物に出会えるサファリパーク形式の動物園です。

早速、「動物ゾーン」を巡るジャングルバスに乗りました。ジャングルバスでは草食動物やライオン等にエサをあげることができ、そのエサを食べるためにジャングルバスの周りに動物が寄ってきます。ライオンも口の中が見えるぐらい至近距離まで近づくので、迫力満点の体験ができます。「ふれあいゾーン」では、カンガルーやミニチュアホースにエサをあげたり、モルモットをさわってみたりして、かわいい小動物たちに癒される時間を過ごせました。何年ぶりかも分からないぐらい久々に訪れた動物園ですが、アフリカンサファリは大人でも楽しめる要素が盛りだくさんでした。

シェリダン・ミキシック
(Sheridan McKisick)
県国際交流員
米国
pu1014001@pref.oita.jp

今月九州オルレコースを歩きました。大分県にはコースが3つあり、「奥豊後」という竹田市にあるコースを歩くことにしました。4～5時間かかり時々急な丘がありましたが、きれいな場所が多いのでとても楽しくおもしろかったです。雨が降っていましたが、満足できた一日でした。訪ねた場所の一つは岡城跡でした。城跡の美しさに加えて見晴らしも良い場所です。岡城跡以外では、用作公園と普光寺と十川の柱状節理もコースのみどころです。

章　羽紅
(Yuhong Zhang)
県国際交流員
中国
pu101501@pref.oita.jp

3月3日は雛祭り。様々な人形や道具を飾り、女児の成長と幸せを願って行われる祭りです。大分県では、あちらこちらで雛人形を飾り、ひな祭りを祝いました。中では、特に天領の日田、杵築、中津は城下町の面影が濃く、この季節に街ごとに特に華やかな催しが行われます。

3月の初めに娘と一緒に、日出と杵築の雛祭りに出ました。日出では、雛人形の鑑賞に合わせ、御菓子とお茶をいただいたり、昔風の暖炉のそばで温まりました。杵築では、人力車に乗り、杵築の昔ながらの街並みの風情を楽しみながら、ゆっくりと雛祭りを楽しむことができました。数百年も前に作られた人形の精巧や保存の良さにびっくりしながら、娘の成長を心の中で祈っていました。

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～
【津久見市／竹田市】

（津久見市）
「大友宗麟墓地公園」
宗麟公の墓と磯崎新氏設計のキリスト教式の墓がある

（津久見市）
「四浦展望台」
日豊海岸国定公園のリアス式海岸が広がる360度の大パノラマ

（竹田市）
「瀧廉太郎記念館」
瀧廉太郎が12-14歳のときの屋敷を現在では記念館に

（竹田市）
「小津留湧水」
毎分4-5tを湧出しており24時間無料。農産物直売所すぐそば

話題提供のお願い！

県人会の活動（懇親会等）や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！（様式は任意です）

【記事提供先／お問い合わせ先】
国際政策課　担当：小野
（4月から担当が変更します。）
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp